

景観建築
はじめての
一歩

建築 × ランドスケープデザイン で切り開く！



新しい時代に求められる

地球と人に心地よい世界を築く **力** とは？

1

建築空間の
**美と技術を
追求する力**

2

花や緑を
**育み
愛でる力**

3

多様な自然環境と
安全な暮らしを
守る力

4

広く長期的な視野で
都市の未来を
見通す力

5

映像情報技術を
駆使した
分析・表現力

景観建築学科の学び



目指す資格 一級建築士 RLA (登録ランドスケープアーキテクト) [詳しくはP.3をご覧ください。]

未来のあなた

自然や植物に
詳しい
建築家

想定される就職先

- 建築設計事務所
- 総合建設業（ゼネコン）
- 公務員（建築部門）

建築設計もできる
**ランドスケープ
アーキテクト**

想定される就職先

- ランドスケープ設計事務所
- コンサルタント（環境調査系）
- 公務員（造園部門）

人も生き物も集まる
まちを創る
都市デザイナー

想定される就職先

- 都市デザイン事務所
- 不動産開発（デベロッパー）
- 公務員（都市部門）

武庫川女子大学 建築学部
景観建築学科 / 建築学科

武庫川女子大学大学院 建築学研究科
景観建築学専攻 / 建築学専攻

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町1-13 TEL/0798-67-4501

お問合せ先

- 見学のお問合せ 0798-67-4501
- 入試に関するお問合せ
- 入試センター 0798-45-3500（直通）
- テレホンサービス 0798-45-8888（入試情報）

ホームページ日々更新中！

最新の授業風景やイベント、入試情報などを紹介しています。



学科
オリジナル
サイト



受験生
特設サイト

武庫川 景観建築 検索

見学は事前にご予約ください。出張講義も受付中！

キャンパスの見学をご希望の方は、建築学部事務室（0798-67-4501）にて、事前にご予約をお願いいたします。高校での出張講義も承ります。

アクセス 武庫川女子大学は、大阪と神戸のほぼ中間に位置しています。上甲子園キャンパスは、JR神戸線「甲子園口」駅より徒歩約10分

●JR「大阪」駅 → JR「甲子園口」駅（14分）

●JR「三宮」駅 → JR「甲子園口」駅（17分）（新快速で神戸駅、駅から普通に乗換）



建築学部

景観建築学科

Department of Landscape Architecture
School of Architecture

建築学研究科

景観建築学専攻

Landscape Architecture Major
Graduate School of Architecture

人と建築と自然が響きあう
景観を創生する

MUKOJO
ACTION
2019-2039



武庫川女子大学

2023

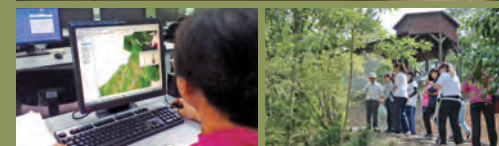
Landscape Architecture

景観建築学科

大学院 景観建築学専攻

人と自然の共生を
実現できる問題解決力と
創造力をもつ
建築・景観設計技術者を
育てます。

これからの建築や都市は、水辺や集落などの文化的景観、街路樹や公園緑地を含む都市景観、屋上や壁面の緑化技術、木・紙・土のような自然素材、自然環境保全など、自然との関係がさらに重視されます。景観建築学科では、**建築とランドスケープを一体的に学ぶ、これまでの日本にはないカリキュラム**を準備。建築、自然、映像情報技術の総合的な学びを通し、自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を養成します。



「建築」「自然との共生」「映像情報技術」を融合し、公園や都市など広域環境の設計も含む「景観建築設計演習」

学びのポイント

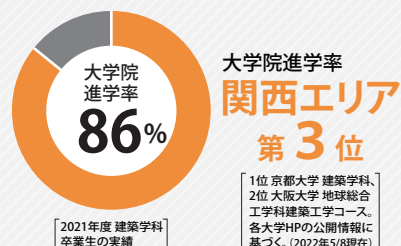
- Point 1**
歴史的な建築の校舎、森、庭園
キャンパスすべてが最高の教科書
- Point 2**
1人1台専用の製図機と
パソコンを備えたスタジオ
- Point 3**
全授業時間の半分以上を占める
少人数制 対話型の演習
- Point 4**
本物を見て触れて学ぶ
フィールドワーク

トップ企業に続々就職！ 建築学部・建築学研究科の 就職力！

本学大学院建築学研究科の修了生は、建築業界売上トップ10の企業の意匠設計部門に続々と就職しています。トップクラスの国公立大学大学院に全く引けを取らない実績です。

就職力=大学院進学率

トップ企業の意匠設計部門には、大学院修士課程修了生しか採用されません。本学建築学部卒業生の高い大学院進学率は就職力にも反映されています。



建築学研究科修了生の就職実績

建築設計事務所 意匠設計部門 採用 売上ランキング上位10社※1	2021年度 修了生	2022年度 修了予定者
① 日建設計	●	
② NTTファシリティーズ		
③ 三菱地所設計		
④ 日本設計		
⑤ 久米設計	●	
⑥ JR東日本建築設計		
⑦ 梓設計	●	
⑧ 山下設計		
⑨ 佐藤総合計画		
⑩ 日企設計		
スーパーゼネコン5社 意匠設計部門 採用 (五十音順)	2021年度 修了生	2022年度 修了予定者
大林組	●	
鹿島建設	●	
清水建設	●	
大成建設	●	
竹中工務店		

※1 出典：日経アーキテクチュア 2021年9月 9月号、日経BP 2020年4月～21年3月の間に期末を迎えた決算の単体実績で設計・監理業務売上高によるランキング
※2 就職見込み

2022年度は
さらに躍進！

上位
10社中
5社※2
建築設計事務所

5社中
4社※2
スーパーゼネコン

建築学部

大学院 建築学研究科



「建築」の武庫女が、「建築と景観」の武庫女へ。
このステージから新たに羽ばたくのは、あなたです。

2006年の開設以来、多くの建築設計技術者を送り出してきた武庫川女子大学生活環境学部建築学科は、2020年春、女子大学初の建築学部生まれ変わりました。建築学科に加え、景観建築学科を新設。これまで建築学科が培ってきた演習中心の少人数制スタジオ型教育や体験型のフィールドワークは、両学科の共通特長として継承します。

建築学科

大学院 建築学専攻

グローバル社会で
発揮できる国際通用力と
独創力を備えた
建築設計技術者を
育成します。

建築学科の教育は、建築系学士修士課程6年間のJABEE認定により、建築家教育の世界水準であるUNESCO-UlA建築教育憲章*に対応しています。この**6年一貫の欧米型建築家教育**を通し、真に人間的な住環境を創生する教養、知識、技術、感性を修得。さらに国際通用性も備え、グローバル社会に貢献できる建築設計技術者を目指します。

*国際社会における建築教育と資格の相互承認を目的に、UNESCO (国際連合教育科学文化機関) とUlA (国際建築家連合) により採択されたUNESCO-UlA建築教育憲章では、欧米型の建築教育に基づく世界水準 (「5年以上の専門教育」「少人数制対話型演習の重視」など) が定められています。

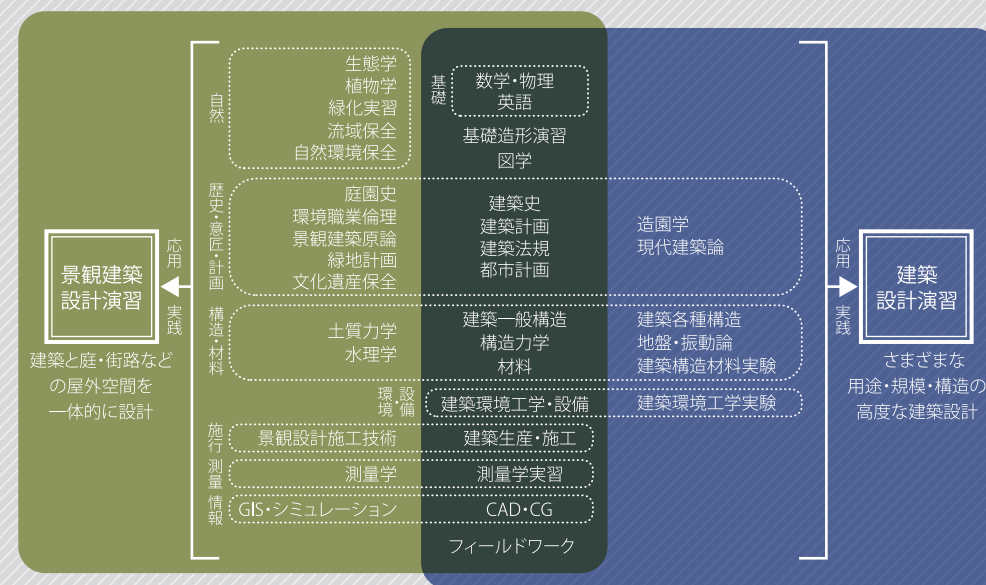


木造住宅から海外のリゾートホテル、膜構造の駅舎、劇場、病院など多種多様な建築設計に取り組む「建築設計演習」

2つの学科の関係と学びのキーワード

景観建築学科

景観建築学科の設計演習は1年間に4課題。各課題で建築とランドスケープ (庭、公園、街路など) の両方を設計します。建築設計に必要な知識と技術に加え、植物・水・土などの自然や、コンピュータによる景観分析やシミュレーション技術についても深く学びます。



建築学科

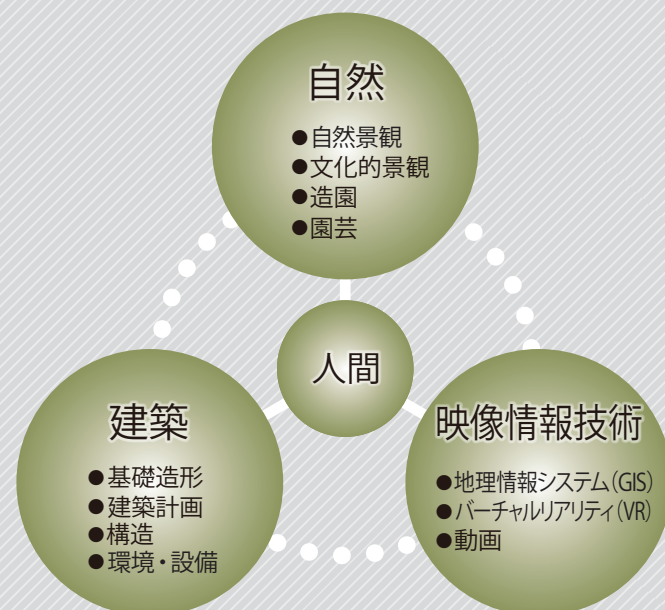
建築学科では、1年間に6課題もの創造的な設計演習に取り組みます。これに加え、構造材料や環境工学の実験などを通して、様々な用途や規模、構造の建築を設計できる高度な能力を徹底的に磨きます。

※いずれの学科も、一級建築士の受験に必要な学歴要件を充します。景観建築学科は、RLA (登録ランドスケープアーキテクト) の受験に必要な学歴要件も充足します。

人と自然と建築が尊びあう次代を築く、 建築・景観設計技術者を養成します。

Concept

古来、私たちは自然の美しさと恵みを享受するとともに畏敬の念を抱きながら、豊かなくらしを育んできました。ところが、水や大気、生態系に影響がおよんでいる現在、持続可能な社会を創生するために、人と自然との関係を問い直し、先人の知恵にも学びながら新たな哲学を築く必要があります。人、建築、景観、そして自然のつながりを深く考え、倫理観に根ざした自然共生を実現できるプロフェッショナルを育てるのが、景観建築学科です。「自然」「建築」「映像情報技術」を融合させた、演習中心の新しい教育を実践。自然共生の「生きた教科書」であるキャンパスと、卒業まで専用の創作スペースが確保されたスタジオで、建築・景観設計技術者を志す高度な能力と豊かな感性を培います。



学習・教育到達目標(学士課程)

■育成しようとする自立した設計技術者像

『真』を求める「理性」を磨き、『善』を行う「人格」を練磨し、『美』を享受する「感性」を養うとともに、これらを応用して社会に貢献できる、
建築に関する自立した設計技術者の育成を目指す。

■学習・教育到達目標

- (A) 高い「理性」により、「強」や「用」を含む「真」の視点から建築・景観的事象を理解するための広範な「知識」を修得し、さらに修得した「知識」を応用して問題を解決する基礎的能力を培う。
- (A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得、及び自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる基礎的能力を培う。
- (A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的技術を積極的に吸収し、演習によって空間的に構成する基礎的能力を培う。
- (A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用」として理解し、その基礎的技術を積極的に吸収し、演習によって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。
- (A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設計・施工計画を進められる基礎的能力を培う。
- (B) 「感性」豊かな個性を、関連する「知識」や実践的「創作」活動により磨き、地域の「美的」、「歴史的」、「文化的」価値を理解し、自然との共生の視点から地域の伝統的文化や景観を創生できる基礎的能力を培う。
- (B-1) 基礎的造形能力を培う。
- (B-2) 歴史、文化、国際社会、地球環境を理解する基礎的知識を修得し価値観を培う。
- (C) 地球環境・国家・地域社会において、真に人間的な住環境を創生するために、社会的義務と責任を重んじ、自然との共生の視点を持って自律的に行動する「人格」を理解する。
- 社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を理解する。
- (D) 「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培う。
- (D-1) 「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的に実現する基礎的能力を培う。
- (D-2) 様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解する。

武庫川女子大学をより知っていただくため、この学科パンフレットとともに大学全体を紹介する「キャンパスガイド 2023」をお読みください。
個性輝く女性を社会に送り出すための武庫川女子大学の学び、一人ひとりのキャリア形成をサポートする進路就職支援など、本学の魅力を紹介しています。

取得可能な免許・資格

- ☐ 一級建築士
(登録には学部卒業後実務経験2年以上必要。ただし本学大学院建築学研究科修士課程の修了は実務経験2年とみなされます)
- ☐ 二級建築士 ☐ 木造建築士
- ☐ RLA(登録ランドスケープアーキテクト)
(学部卒業後実務経験3年以上必要。ただし本学大学院建築学研究科景観建築学専攻修士課程の修了は実務経験2年とみなされます)
- ☐ RLA補(登録ランドスケープアーキテクト補)
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会が認定した特別認定学科を卒業後に登録申請の手続きをすることで資格が得られます)
- ☐ 建築設備士
(学部卒業後実務経験2年以上必要。大学院における建築設備の研究は、それに従事した期間相当の実務経験とみなされます)
- ☐ 1級建築施工管理技士(学部卒業後実務経験3年以上必要)
- ☐ 2級建築施工管理技士(学部卒業後実務経験1年以上必要)
- ☐ 建築基準適合判定資格者
(一級建築士取得後、建築行政または指定確認検査機関で実務経験が2年以上必要)
- 測量士(学部卒業後実務経験1年以上必要)(予定)
- 測量士補(予定)
- JABEE認定プログラム修了【エンジニアリング系学士課程建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野】

☐ : 受験資格 ☐ : 免許登録要件

RLA(登録ランドスケープアーキテクト)とは、美しい都市・地域づくりを担うランドスケープ・アーキテクチャー業務を担います。RLA資格認定試験に合格することで得られる資格です。**景観建築学科は、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会が認定する「特別指定学科」**のため、本学科を卒業すると「RLA補(登録ランドスケープアーキテクト補)」の登録資格を取得できます。また、RLA試験の学歴要件を満たすと同時に、RLA補の資格保持者はRLA試験の一次試験が免除されます。

庭と一体の建築空間。
最も美しい眺めはどこだろう。

花と緑は、人にも建築にも
うるおいを与える。

石にも頭があり、顔がある。

緑が溶け込む街は、
人が集い、文化が生まれる。

自然を敬うほど、都市は輝く。

葉っぱも枝も
樹木の色や形は
まるでアート。

かけた時間が
表現力を磨く。

デザイン、芸術、ものづくりが好き。
ワクワクするような建物を設計したい。
心やすらぐ庭を作りたい。
緑あふれる都市をデザインしたい。
花や樹木が好き。
自然環境保全や防災に貢献したい。
映像情報のスキルを身に付けたい。
一生の仕事を見つけたい。

そんな あなたを
景観建築学科は 求めています。

真の自然共生へ。
新しい技術と発想で
導きたい。

卒業まで、ここが私の居場所。
どこよりも長く過ごし、私を鍛える場所。

街の記憶となる建築、
四季を実感できる森や庭園：
ここは、景観と建築を学ぶ理想のキャンパス。



森と庭園と名建築に抱かれて、 心豊かに学ぶ。



■ 上甲子園キャンパス全景。景観建築学科の新校舎「景観建築スタジオ 東館」および「景観建築スタジオ 西館」と2学科共同で使用する「甲子園会館」



■ いけばなや陶芸、瓦の制作、デッサンなどに取り組む「アトリエ」



■ 午前中に講義科目を受講する「講義室」



■ 甲子園会館のデザインに調和した家具で落ち着いた閲覧できる「図書室」



■ 演習に使う道具や材料、画材を販売している「アートショップ」

甲子園会館と共鳴する2つの新校舎。



■ 甲子園会館のデザインを継承し、1年生のスタジオがある「景観建築スタジオ東館」



■ 周囲の庭園と樹林の緑に包まれた景観建築スタジオ東館の「ラウンジ」



■ 2年生から4年生のスタジオがある「景観建築スタジオ西館」

建築学部のある上甲子園キャンパスは、“生きた教科書”に満ちあふれています。1930年に甲子園ホテルとして建てられた名建築「甲子園会館」は、フランク・ロイド・ライトの愛弟子、遠藤新による芸術作品。その甲子園会館と調和する、景観建築学科のための2つの新校舎も建設されました。さらに、キャンパス内には、池を巡る回遊式庭園、茶室や露地に加え、桜、クスノキ、松などの樹林や竹林が広がります。人と建築と自然の共生を日常的に体感しながら学べる、それが景観建築学科です。



■ ライトアップされた庭園の紅葉と「甲子園会館」

キャンパス内の森や庭園で植物に触れながら、その種類、特性、生態を学習。演習で制作した造形作品は、樹林や花を背景に写真撮影。さらに、秋には学生の手で庭園を芸術的にライトアップ。甲子園会館と周囲の自然が紡ぎだす表情は天候や季節により変化し、“生きた教科書”のひとつとなります。



■ 園芸実習場の花壇の手入れ



■ 実習用の植物を管理する温室



■ 自然の地形と雑木林を生かしてデザインされた景観建築スタジオ東館の庭園



■ 庭園内にたたずむ茶室



■ 1年生が使用する 景観建築スタジオ東館 の「スタジオ」

1人1台専用の 製図機とパソコンを 備えたスタジオ。

学年ごとに分かれたスタジオには、入学から卒業まで専用で使える量1帖サイズの製図機とパソコンを完備。心おきなく建築・景観設計に取り組めます。この充実したスタジオこそ建築学部の特長であり、学生と教員が一对一で進める対話型演習には不可欠なのです。各自の製図機と作品展示スペースは、日々の成果を発表する“ショールーム”にもなります。



■ 景観建築スタジオ西館「講義室」



■ 景観建築スタジオ西館 2年生～4年生の「スタジオ」

Career Support

将来のビジョンを明確に、理想のキャリアを見つける。



原田 凜さん
東畑建築事務所 勤務
大学院 景観建築学専攻
(2022年3月修了)
兵庫県立 芦屋高校出身

「景観建築設計総合演習」で多くの設計課題に取り組みました。地域の特性を考えたり模型を使ったりして様々な角度からアイデアを発想する力を養いました。間仕切り一つで空間の印象が変わることなどにも気付き、多くのデザインパターンを蓄積できました。また、「景観映像情報特論A・B」ではGISなどのソフトを使い、敷地周辺を調査・分析することで、建築と風景が調和した空間を計画する力が身に付きました。

就職先では、風景や緑を生かした不特定多数の人が利用する公共施設のデザインがしたいです。屋外空間に設置するベンチや標識など、ストリートファニチャーにもこだわりたいと思っています。



中村 友香さん
ランドスケープデザイン 勤務
大学院 景観建築学専攻
(2022年3月修了)
武庫川女子大学附属高校出身

修士設計では、自然を生かした未来のまちづくりをテーマにしました。ヒートアイランド現象や都市型集中豪雨の解決策の一つが緑化です。雨水が川に流れて氾濫しないよう植物の保水力を生かした空間を計画する過程で、見た目の緑化に留まらず生物が繁殖できる環境にすることが重要だと感じています。授業の中で実際に植物を育てることで、四季や経年の変化を踏まえた大きな視点で設計ができるようになりました。また、時代の変遷に合わせた都市設計のために、人口や交通インフラの変化など多くの情報を収集し分析することの重要性も学びました。将来は、多くの人が集う屋内と屋外の中間領域のようなランドスケープをデザインしたいです。

季節の変化、年月の流れまでを視野に入れた、魅力的なランドスケープ空間を設計したい。



2021年度 修士設計「長崎ブレア・パーク 一長崎における切支丹歴史資料館と海を臨む祈念公園」



2021年度 修士設計「大阪いきものネットワーク」

■キャリア支援の流れ

Step 1 未来探し・自分磨き | 学部1年生～3年生・前期

実務経験の豊かな教員による設計演習や実習、授業などを通して、将来像と修得すべき職能についての具体的なイメージを形成します。また、建築・景観設計技術者を目指す心構えや景観建築分野における職種や資格についての説明会なども実施します。

Step 2 進路選択 | 学部3年生・後期～学部4年生

学部卒業後に、大学院への進学か就職かを選択します。社会の第一線での活躍を目指す学生には、大学院進学を支援します。学部卒業後に就職を希望する学生には、本学キャリアセンターによる就職ガイダンスや個別就職相談などの様々なプログラムを用意しています。

Step 3 就職に向けての最終準備 | 大学院修士1年生

設計事務所や建設会社などのリクレーターの方を招いて、会社概要や採用スケジュール、入社試験に必要な準備などの説明会を開催し、志望職種を具体的に決定するための支援を行います。また、授業の一環として試験対策やインターンシップも実施します。大学院でのインターンシップは、就職へつなげる契機となることもあります。

Step 4 進路決定 | 大学院修士2年生

会社概要や採用スケジュールなどの情報提供、入社試験のための技術指導、エントリーシートなどの個別相談など、内定獲得まで支援します。

■未来の主な進路

※修士課程修了者の就職率 100%

建築系 | 東畑建築事務所、坂倉建築研究所、熊谷組、銭高組、タイビル、国土交通省 など
景観系 | ランドスケープデザイン、総合計画機構、光井純 & アソシエーツ建築設計事務所 など

- 設計事務所 | 建築・ランドスケープなどの設計
- 総合建設会社 | 設計、施工管理など
- 住宅メーカー | 設計、施工管理、営業など
- 建材・設備などのメーカー | 商品開発、営業など
- ディベロッパー | 不動産開発、まちづくり、住宅などの事業・施設企画、営業など
- コンサルティング企業 | 調査、施設企画など
- 官公庁 (建築職・土木職) | 国土交通省、県庁・市役所などでのまちづくり、審査・指導など
- 教育研究機関 | 大学などでの教育、研究

一級建築士・RLA(登録ランドスケープアーキテクト)の資格受験に必要な学歴要件を充足
RLA補(登録ランドスケープアーキテクト補)の登録資格

一級建築士の資格取得およびRLA登録ランドスケープアーキテクト受験に必要な実務経験2年を充足

在学生の声をお届けします!

Campus Life REPORT



友達と出会えるキャンパスや学寮

大学院 修士2年生 森 暉理さん
四日市高校/三重県
本学には歴史ある学寮があり、私も入学当初から寮生活を送っています。集団での生活によって、自主性やコミュニケーション力が自然と磨かれると感じています。同じ学科の仲間だけでなく、他学科の友達と出会うことも魅力です。また、私の住む寮には景観建築学科の園芸実習場があり、草花のある風景を日々楽しんでいます。



「建築+庭園」の設計を楽しむ

大学院 修士2年生 岸 音葉さん
尼崎稲園高校/兵庫県
幼い頃から街並みや建築、植物に興味があり、景観建築学専攻を志望しました。最初は「建築を学ばなら工学部」と考えていましたが、今は違います。ここで伸び伸びと「建築+庭園」の設計を楽しんでいます。一級建築士に加えて、今後、ランドスケープアーキテクトを目指すことで、自分の強みを増やしていきたいです。



分野を横断する学び

大学院 修士1年生 中谷 友維さん
明石北高校/兵庫県
人々の活動だけでなく、それらを取りまく自然環境、インフラとの関係を考える都市設計に興味を持ち、景観建築学専攻に進学しました。建築学や植物学など、様々な分野を横断する学びによって視野が広がり、デザインの面白さを感じています。将来は海外でも活躍できる技術者となり、街全体の設計に関わりたいです。



癒しや環境もデザイン

大学院 修士1年生 伊奈 さくらさん
姫路東高校/兵庫県
学部4年生の時に、建築士の資格取得のために大学院進学を決めました。景観の学びを通して、緑には美しさだけでなく、人の暮らしや文化を充実させる力があると考えようになりました。植物には四季があり、成長を考えながら設計する難しさがありますが、人々の癒しや環境もデザインできる技術者を目指しています。



敷地全体を設計する達成感

学部3年生 鈴木 彩生さん
市立西宮高校/兵庫県
「景観建築設計演習Ⅲ」では美術館の課題に取り組んでいます。環境計画や構造などルールに則りながら構成する建築と、自由な造形も可能なランドスケープを組み合わせて敷地全体を設計するのは楽しく、達成感があります。キャンパス内の多彩な植物は教材としても使用され、庭園を設計する時の参考になっています。



友人と一緒に学べるスタジオ

学部3年生 宮崎 有希乃さん
宝塚北高校/兵庫県
ホームルームであるスタジオでは、仲の良い友人達と共に楽しみ、また悩みながら、学生生活を送っています。個人専用の製図机はパネルで仕切られているため、視線を気にせず集中して課題に取り組むことができるのと同時に、ソーシャルディスタンスを保ちながらクラスメイトと一緒に安心して学べる空間です。



高度な専門性を学ぶ設計演習

学部2年生 原田 桃果さん
清水谷高校/大阪府
キャンパスの美しい緑に囲まれたスタジオで、クラスの皆と一緒に過ごし、設計作品を制作しています。2年生になり、演習の内容も高度な専門性が求められるため、プレッシャーを感じることもありますが、友達と様々なことを話し合いながらの創作活動はモチベーションUPにつながり、とても面白いと感じています。



フィールドワークで実体験

学部2年生 屋敷 ゆいさん
新宮高校/福岡県
「景観建築フィールドワークⅡA」では、設計演習に関連して京都の歴史的な邸宅や日本庭園を見学しました。普段は見ることのできない場所を詳しい解説付きで実際に体験し、スケッチすることで、いろいろな気づきがありました。また、先生方もフレンドリーで、いつでも気軽に質問できるので、深い理解につながっています。



忙しいけれど楽しい!! 学生生活

学部1年生 月山 杏菜さん
県立伊丹高校/兵庫県
キャンパスの雰囲気や施設の良さに惹かれて入学しました。きれいで居心地の良い校舎は私の自慢です。学生生活の忙しさは想像通りでしたが、「表現基礎演習」では数学を使って作品を制作するなど、これまで経験のない学びで毎日がとても楽しいです。植物実習ではインゲンの種を植えたばかりですが、いまから収穫が楽しみです。

卒業生の声・在学生の声

建築学部

学科概要

学習環境

在学生の声

カリキュラム

学部1年

学部2年

学部3・4年

大学院概要

修士1・2年

教員紹介

Q & A



【演習】

美をカタチにする表現力と、 歴史・文化・風土に 根ざした創造力を磨く。

学部1年生 前期

表現基礎演習

「芸術家や専門家との全人格的な交流から、美の本質と造形の基本を体得」

■ 盆景

限られた小空間の中に自然美を縮景または抽象化して表現する盆景を学び、景観建築の理想像を考えます。

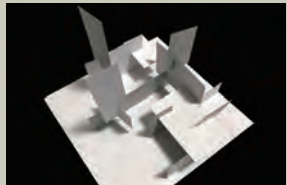
塩見 篤史 講師
博士(学術)
塩見庭園会長
作庭家



市立西宮高校出身(兵庫県)

■ 平面による構成

矩形平面を水平、垂直に組み合わせ、心象風景を表現し、空間の表情や寸法の秩序がもたらす美しさを探究します。



咲くやこの花高校出身(大阪府)

■ 対立による調和

異なる表情をもつ2種類の素材を各自が選定。これらを「対立」させることにより、新たな「調和」を創造します。



泉北高校出身(大阪府)

■ グラフィック

景観建築学科のイメージを色で表現することをテーマに、色彩構成パネルを作成し、魅力的なデザインを考えます。

吉田 治英 講師
(株)G K京都 顧問
グラフィック
デザイナー



武庫川女子大学附属高校出身(兵庫県)

■ 日本画

身近な自然を題材に、日本画独特の骨描きや顔彩による着彩に挑戦。自然美を深く味わい、慈しむ姿勢を学びます。



鳴尾高校出身(兵庫県)

■ 書道

日常的に行う「字を書く」という行為を強く意識し、そこに自己の感情を投影させ、「書道」という芸術に昇華させます。

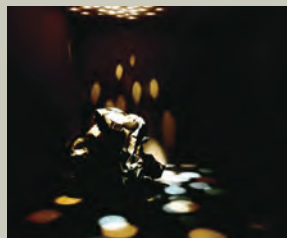


県立伊丹高校出身(兵庫県)

■ 光と陰影

実体のない「光と陰影」をコントロールし、美しい空間を創造。デジタルカメラで撮影し、映像作品として仕上げます。

平垣内 悠人 講師
ミリエン・フォト 代表
フォトグラファー



御影高校出身(兵庫県)

■ 甲子園会館の透視図

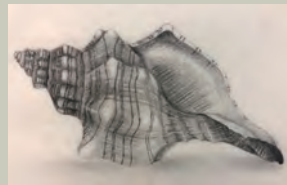
甲子園会館の透視図を描きます。プロポーション、細部の意匠などを観察し、透視図法による表現の理解を深めます。



新宮高校出身(福岡県)

■ デッサン

自然の造形を観察し、正確に描写します。自然界の法則を見つける驚きと感動を表現する技術を身に付けます。



神戸高校出身(兵庫県)

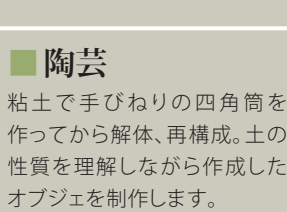
■ 音と動画の映像表現

写真や音を繋ぎ合わせ、一連のストーリー性を持った動画作品を制作。写真の表示時間や切り替わりのエフェクト、配置、音声など、心理的な効果を考えながら表現を探索します。

安積 亜希子 講師
アートユニット
circle side (サークルサイド) 所属
映像空間作家



小笠原 寛夫 講師
アートユニット
circle side (サークルサイド) 所属
映像空間作家



■ 陶芸

粘土で手びねりの四角筒を作ってから解体、再構成。土の性質を理解しながら作成したオブジェを制作します。



■ いけばな

いけばなを通し、日本文化の基本的な心得を養成。陶芸で制作したオブジェを花器として用い、創作いけばなにも挑戦。



須磨東高校出身(兵庫県)

多様な造形演習と小規模な庭園や建築の設計から、 景観建築の基礎を理解。

1年生前期では、自分の内面と向き合うことで養われる「美」の表現力を、専門家から直接手ほどきを受けながら磨きます。

1年生後期からは設計演習です。課題を通して、景観・建築設計の根幹である空間の概念に加え、自然観と空間構成を正確に理解します。

学部1年生 後期

設計基礎演習

「空間の基礎概念および日本の自然観と伝統的空間構成」

「空間の基礎的な概念の理解」をテーマに、小規模建築と小庭園を一体的に設計する課題に取り組みます。景観設計に適した植物の種類も学習。また、課題と連携した[測量学実習]では、課題敷地の測量、敷地図の作成や地形の解析などにも挑戦します。



姫路飾西高校出身(兵庫県)



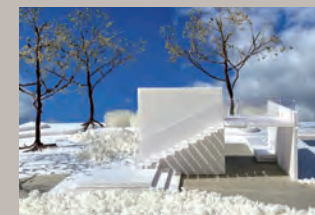
神戸海星女子学院高校出身(兵庫県)



三田祥雲館高校出身(兵庫県)



富田林高校出身(大阪府)



北陸高校出身(福井県)



刀根山高校出身(大阪府)

課題1 東屋と花と樹木の 小庭園

課題2 借景・眺望の庭 仏教寺院と

「日本の自然観と伝統的空間構成」をテーマに、仏教寺院の庫裏または方丈と借景庭園を一体的に設計。日本の伝統的な木構造や借景、材料に加え、自然を象徴的に縮小し建築空間に導入して楽しむ伝統的の石組「咫尺千里(しせきせんり)」や縮景の理念などを学びます。また、CADを活用し、設計した建築と庭園の3Dモデル作成、写真測量データ取り込み、透視図作成などにも挑戦。課題に適した植物の種類や敷地周辺の植生についても理解を深めます。



清水谷高校出身(大阪府)



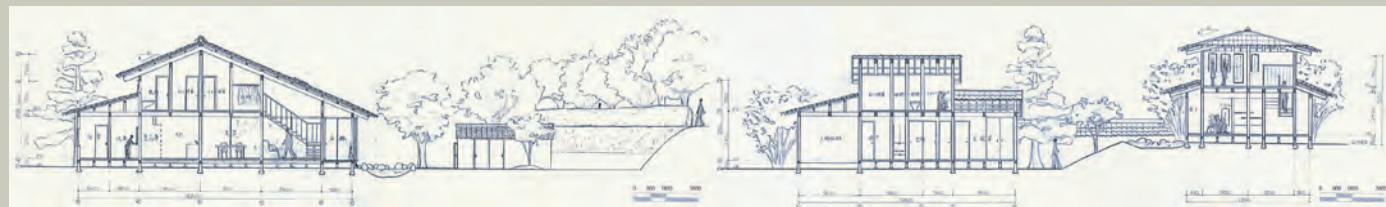
【演習】

個人、家族、集団、地域 様々な視点から 理想の住環境を考える。

学部2年生 前期

景観建築設計演習Ⅰ 2年生前期

「日本庭園や西洋式庭園のある暮らし」



富田林高校出身(大阪府)



武庫川女子大学附属高校出身(兵庫県)

課題1 日本庭園のある 戸建て住宅

日本の住宅建築と庭園の歴史・特徴を理解したうえで、木造の住宅と日本庭園を一体的に設計する課題に挑戦。また、「景観映像情報演習」と連携して、CADやCGソフトを応用して木造住宅や庭園のリアルな透視図の作成にも取り組みます。



市岡高校出身(大阪府)



計画敷地の海を見下ろす景観



伊川谷北高校出身(兵庫県)



市立西宮高校出身(兵庫県)

課題2 斜面地に建つ 小ホテルと 花のある西洋式庭園

「雄大な自然の眺望と融合する景観」をテーマに、斜面地に建つ鉄筋コンクリート造の小ホテルと西洋式庭園を一体的に設計。西洋式庭園の歴史に加え、建築と前庭、遠景の眺望との関係などについて理解を深めます。GISを用いて植生分布や地形を分析し、設計に活用。さらに、課題敷地の斜面地形を測量し、敷地図や地形の3Dモデルを作成します。

日本や西洋の自然観・文化の理解を深めるとともに、 プライベートやパブリック空間、交流の場の設計方法を学ぶ。

2年生からランドスケープと建築を一体的に提案する本格的な設計演習がスタート。1年間で4課題に取り組みます。
戸建て住宅、セミナーハウス、宿泊施設、集合住宅の4課題を通して、人と人の多様な関係性を配慮しながら、自然と共生する住環境を設計する基礎的能力を培います。

学部2年生 後期

景観建築設計演習Ⅱ 2年生後期

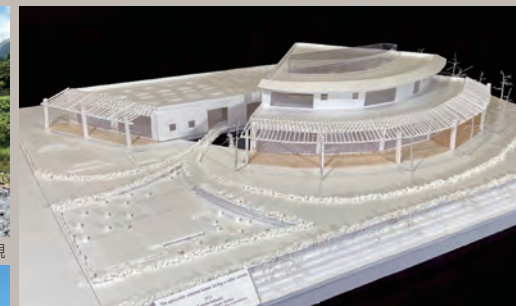
「溪流の景観デザインと流域の分析 集合住宅とコミュニティの形成」

課題1 溪流沿いの セミナーハウス

溪流沿いに周囲の山並みに調和する学生セミナーハウスを設計します。建築とランドスケープを一体的に計画することで、日本的な山水風景の特徴や内外空間を有機的につなぐ構成について学びます。さらに、GISを用いて溪流を中心とした課題敷地周囲の地形と流域の解析、CGを利用した景観シミュレーションにも取り組みます。



計画敷地周辺の溪流の景観



三田祥雲館高校出身(兵庫県)



北千里高校出身(大阪府)



倉吉西高校出身(鳥取県)



泉陽高校出身(大阪府)

課題2 中庭のある集合住宅と 小公園

低・中層集合住宅と、住民間の交流を促す中庭、集合住宅に隣接する街区公園を一体的に設計する課題に取り組みます。この課題から、住まいとコミュニティ、通風と日照、屋上・壁面の緑化、ベランダや中庭での園芸などについて多角的に学習。さらに、CADを用いて設計案のウォークスルー動画を作成し、景観シミュレーションも行います。



伊丹北高校出身(兵庫県)



【演習】

人・都市・自然が織りなす 100年先も心地よい 都市景観を創生する。

学部3年生

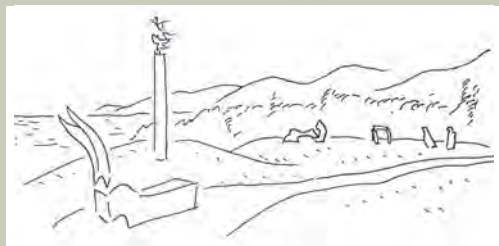


景観建築設計演習Ⅲ 3年生前期

「理想の自然景観 稲作のための水景と現代の集落」

課題1 庭園美術館 山と海を取り込む

海や山を望む広々とした庭園に、彫刻などを屋外展示する小美術館を設計します。理想の自然景観を探索するとともに、展示・動線の計画手法や、彫刻、広場、樹林、散策路と建物、そして周辺景観を融合させた総合的な景観の設計力を養成。CADを活用して、起伏のある複雑な地形の3Dモデリングを用いた景観シミュレーションにも取り組みます。



日本の伝統的な農村風景は、農業のための田畑や水系を通して形成されています。その特徴や水利などを理解し、水路やため池を中心とした現代の集落と街並み、街路、公園などを一体的に設計。GISを活用して、ため池を中心とした土地利用の変遷や水系などの分析にも取り組みます。



課題2 池を中心とした 集落と公園

景観建築設計演習Ⅳ 3年生後期

「象徴的な景観 海と街並み」

象徴的で、人や自然にやさしい都市景観を創生する課題に挑戦します。街路計画の基本的な考え方、街のシンボルと街路の関係、交通計画の基礎、地域の生態系などを理解したうえで、街路、街並み、小公園を一体的に設計。GISを用いて対象地域の地表面の状態を表す土地被覆の状況などを分析し、設計に役立てます。



課題1 シンボルのある 街路・街並み・公園

課題2 人にやさしい海岸と 海に面した街並み



人にやさしい海岸について、季節の変化や潮の満ち引き、海辺の植生などに加え、防災面からも考慮します。そして、海岸とその海岸沿いに、歩いて楽しい街並みを一体的に設計。GISによる土地利用分析やVR（仮想現実）を用いた景観シミュレーションを行い、デザインの検討やプレゼンテーションに役立てます。

※演習課題の内容は変更される場合があります。

「文化的景観」を理解し、 人と地球にやさしい建築・都市をデザインする力を修得。

3年生になると、人間の文化的営みと自然の深い結びつきや理想的な自然景観を理解し、より規模の大きい景観・建築設計に取り組みます。4年生前期は都市のイメージや防災を考える2課題に挑戦。後期は4年間の総まとめとして、卒業論文および卒業設計に取り組みます。

学部4年生



景観建築設計演習Ⅴ 4年生前期

「都市のイメージ 河川流域の治山治水に基づく都市デザイン」

課題1 都市のイメージに基づいた わかりやすい街と 水と緑のマスタープラン



人の空間認知特性を理解したうえで、わかりやすく安全かつ地域性や風土に配慮した街並み、水、緑のマスタープランを作成します。GISを活用して、都市構造を解析・理解。さらに、イメージマップでの調査などから、都市のイメージと地形・山・川・海との関わりなどを探索し、その都市の生態系や植生についても学びます。

課題2 流域の防災を考慮した 緑地や公園と 住居地域



河川流域の土地利用や緑地の分布状況、そして雨水の利用や循環を考慮し、安全で美しい川沿い地域の住居、緑地、公園を計画・設計します。ジョギング、イベントなどに活用される河川敷や、両岸の街並みのデザインを提案。GISを用いた水害システムのシミュレーション作成や、建物の高さ・形態・色彩などの制限による景観コントロールの論理についても学びます。

卒業研究(卒業設計・卒業論文) 4年生後期

「理性と感性の高度な総合による研究と設計」

景観・建築の設計とは、理性によって人、建築、景観、自然の関係を的確かつ迅速に把握し、感性によって文化・芸術として美しく創造することです。そのため、互に関連したテーマで卒業設計および卒業論文の両方に取り組むのが、本学科の特長。各研究室に所属して教員ひとりの指導を受けるのではなく、研究室の垣根なくグループ単位で複数の教員の指導を受けます。4年間の学びの集大成は、卒業研究発表会。学外から招いた専門家の前で、学生全員がプレゼンテーションを行います。

- 研究テーマ例
- ・庭園文化をいかした公園の設計
 - ・日本と諸外国における自然観と景観
 - ・自然と建築が調和する美しい屋上・壁面緑化 など

Aynu Promenade



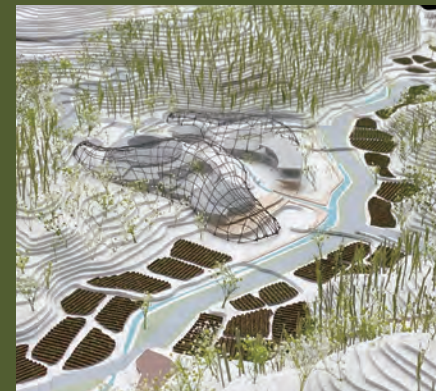
武庫川女子大学附属高校出身（兵庫県）

道の駅「orinaS」 山海の風景を織りなす四国の新名所



武庫川女子大学附属高校出身（兵庫県）

谷の建竹家たち 里地里山の再生計画



明石北高校出身（兵庫県）

人と歴史を繋ぐ港 銀の馬車道の継承と緑地を生かしたまちづくり



姫路東高校出身（兵庫県）

※卒業設計作品は、2021年度に建築学科を卒業し、2022年度に大学院 景観建築学専攻に進学した学生の作品です。景観建築学科1期生は2023年度に卒業研究に取り組む予定です。



日本初の「建築学研究科」誕生。

景観建築学専攻

(修士課程 定員6人／博士後期課程 定員1人)

建築学専攻

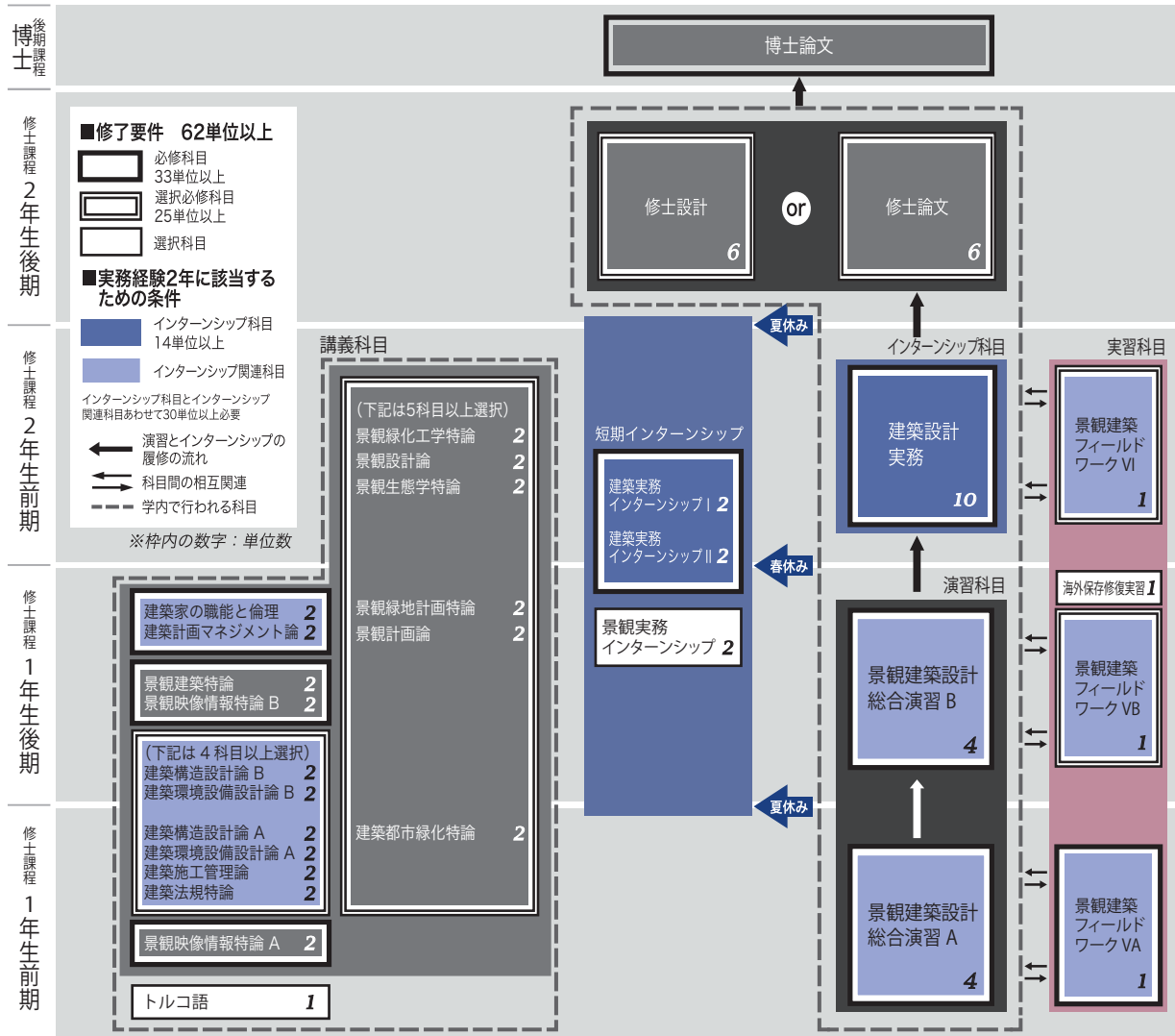
(修士課程 定員22人／博士後期課程 定員2人)

武庫川女子大学は、2020年度に日本初となる大学院「建築学研究科」を開設しました。「建築学専攻」と「景観建築学専攻」の2専攻体制となり、演習中心の欧米型建築教育がさらに進化します。

大学院 景観建築学専攻 修士課程 / 博士後期課程

自然・建築・映像情報の「理論」と「実践」が有機的に連携するカリキュラム

Curriculum



※カリキュラムは 2023 年 4 月に入学する学生のものです (予定)。

真の自然共生を実現できる倫理観を備えた、建築・景観設計技術者や研究者を養成。

これからの持続可能な社会や建築、都市の創生には、自然との関係が重要です。景観建築学専攻では、自然と共生する社会に貢献できる高度な建築・景観設計技術者や研究者を、「ランドスケープ」「建築」「映像情報技術」が融合した学びを通して養成します。

学びの Point

- 一級建築士の免許登録に必要な「実務経験2年」に相当
- RLA (登録ランドスケープアーキテクト) の受験資格取得に必要な「実務経験3年」のうちの2年に相当
- 研究室に所属せず、学生全員が共通のコースワークに取り組む、演習中心の欧米型スタジオ教育
- 映像情報技術を活用しつつ、景観と建築を総合的に設計する対話型の設計演習
- スタジオには、1人1台専用の製図機とパソコンを完備
- 土曜日は、「見て触れて学ぶ」フィールドワーク

授業紹介

研究指導Ⅰ～Ⅵ、先端景観建築学演習

修士設計・修士論文 修士課程2年生後期

修士課程の集大成として、各自がテーマを設定し、研究を進めます。自ら得た新たな知見を空間構成として総合化し、その成果を建築・景観設計または論文にまとめて、プレゼンテーション。社会で自律的に行動し、活躍できる高度で知的、かつ感性豊かな専門職能を確立します。

建築設計実務 修士課程2年生前期

学内外の実案件などを対象に、新築・改築・保存・修復などの実務を半期 (300時間) にわたって実習します。教員の指導のもと、構造・設備設計者や施工者から多くの専門家と協働する方法や施工の状況を实地から学び、コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解。実践的能力を身に付けます。

景観建築設計総合演習 B 修士課程1年生後期

基本構想から基本計画、基本設計に至る、プロセスを重視した2課題「GISによる高度な分析に基づく景観の基本構想と計画」と「文化的景観を形成するランドスケープと建築」の2つのテーマを取り上げ、計画地周辺の分析図を作成し、景観を構想、設計します。ランドスケープと建築が一体となる作品の創造を目指します。

景観建築設計総合演習 A 修士課程1年生前期

自然と一体になった建築をテーマに、「インスタレーションの共同制作」と「茶室と露地の設計」の2課題に取り組みます。複数の教員が学生と一対一できめ細かく指導し、自然素材の活用や生態系と共生する手法なども検討。講評会では、学外の造園家や建築家など専門家の講評を受けます。

ディプロマ・ポリシー (修士課程)

- (A) 高い「理性」により、「強」や「用」を含む「真」の視点から建築・景観的事象を理解するための広範な「知識」を修得し、さらに修得した「知識」の統合により問題を解決する実践的能力を修得している。
- (A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得、及び自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる実践的能力を修得している。
- (A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって空間的に構成する実践的能力を修得している。
- (A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって最適な空間を構成する実践的能力を修得している。
- (A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設計・施工計画を進められる実践的能力を修得している。
- (B) 「感性」豊かな個性を、関連する「知識」や実践的「創作」活動により磨き、地域の「美的」、「歴史的」、「文化」的価値を理解し、自然との共生の視点から地域の伝統的文化を創生できる実践的能力を修得している。
- (B-1) 基礎的造形能力を培っている。
- (B-2) 歴史、文化、国際社会、地球環境を理解する実践的知識を修得し価値観を身に付けている。
- (C) 地球環境・国家・地域社会において真に人間的な住環境を創生するために、社会的義務と責任を重んじ、自然との共生の視点を持って自律的に行動する「人格」を身に付けている。
- 社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を身に付け、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成している。
- (D) 「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身に付け、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得している。
- (D-1) 「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的、実践的に実現する能力を修得している。
- (D-2) 様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解し、チームワークで建築をつくりこむことのできる能力を修得している。

※本学建築学科を卒業後、本学大学院景観建築学専攻修士課程に入学し、修了した学生は、UNESCO-UIA対応プログラムの修了生と認められます。



修士課程のスタジオ



工場敷地内の庭園計画

景観設計論

修士課程2年生前期

景観設計分野における基本設計や実施設計の理論や手法について学びます。基本図面に加え、植栽工・施設工・園路広場工の詳細図作成、土地造成計画や土量計算の手法などを身に付けます。



課題敷地の周辺地形模型を作成し検討

景観映像情報特論 B

修士課程1年生後期

「景観建築設計総合演習 B」と連携し、実写とCGの合成動画による景観シミュレーションや地理情報システム (GIS) による地形や地域特性の分析など、映像情報技術の高度な活用方法を習得します。



森林の樹木や植生の観察・生態系の理解

建築都市緑化特論

修士課程1年生前期

建築の屋上緑化、壁面緑化など最新の緑化技術について事例に即して学びます。また、環境配慮型の緑化を目指した栽培試験を行い、建築・都市緑化に適した植物の選択および管理法を検討します。



【演習】

【インターンシップ】

豊かな住環境の根幹を 芸術と社会の側面から 探求する。

修士課程1年生



景観建築設計総合演習 A 修士課程1年生前期 「原寸大の空間構築 茶室と露地」

課題1 建築物と植物による デモンストレーションガーデン

建築的要素と造園的要素を融合させた、美しいデモンストレーションガーデンを共同で設計・制作します。構築物の形状や素材、植物の特性と向き合いながら、意匠、構造、施工、植物の管理など多面的に検討します。



2021年度作品「爽窟」



尼崎稲園高校出身(兵庫県)



武庫川女子大学附属高校出身(兵庫県)

課題2 設計 茶室と露地の

庭園と建築が一体化し、用と美が調和した茶湯の空間を創造します。設計に先立ち、茶道の歴史や作法、そのための空間構成について学び、これらを踏まえて創作茶室と露地を設計。動線計画、既存苑池の水景との連続性、地形と植栽計画などを考慮して総合的に提案します。

景観建築設計総合演習 B 修士課程1年生後期 「景観の基本構想と計画 文化的景観の創造」

課題1 琵琶湖湖北地域における 水の景観構想・計画・設計

滋賀県が展開するサイクルツーリズム構想を基盤に、高島市を対象とし、景観構想・計画・設計に取り組みます。GISを活用し、対象地域の植生・気象・地勢・水系などの自然状況、人口分布・交通・構成年齢などの社会状況などを理解し、豊かな自然・文化に恵まれた地域特性を生かした景観およびその構成要素となる建築を総合的に提案します。



延岡高校出身(宮崎県)

課題2 文化的景観と 対峙しつつ共生する 建築とランドスケープ

計画地は、茅葺屋根の民家と豊かな自然が織りなす文化的景観が残る京都府南丹市美山町。由良川を挟んで茅葺き集落と対面する河畔に、ワークプレイス、茅葺の伝統技術を継承するための施設などを計画します。



四日市高校出身(三重県)

スタジオ型教育でデザイン力・実践力にさらに磨きをかける

欧米の大学院と同様にスタジオ型の教育を行います。入学時に専門分野別の研究室に配属される研究センター型の大学院ではなく、学生全員が共通の課題に取り組む実践的な演習が中心で、研究室の垣根なく様々な教員から指導を受けられます。
修士課程1年生から2年生前期まで、建築・庭園・都市・ランドスケープに関するより高度な演習科目、および一級建築士の資格登録に必要な実務経験を満たすためのインターンシップ科目に取り組めます。
修士課程2年生の後期にゼミ配属があり、6年間の集大成として、修士論文または修士設計に取り組めます。

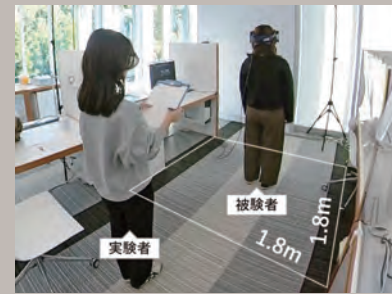
修士課程2年生



修士論文・修士設計 修士課程2年生後期

■修士論文

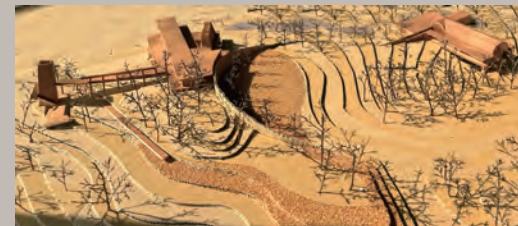
VRを用いた緑地空間の風景の印象評価



春日丘高校出身(大阪府)

■修士設計

長崎プレア・パーク 長崎における切支丹歴史資料館と海を望む折念公園



県立芦屋高校出身(兵庫県)

植物と共に暮らすと営み アーケード街に建つ居住空間



比治山女子高校出身(広島県)

建築実務インターンシップⅠ・Ⅱ

修士課程1年生後期・2年生前期

学内外の設計事務所などで リアルな実務に触れ、実践力を確実にする

おもに夏季または春季休暇の2週間(60時間以上)、豊富な実務実績を有する、国内外の建築設計事務所、調査研究機関、専門的な技術をもつ工務店、実務教育プログラムを有する国外の大学などにおいて、建築・都市設計、構造設計、設備設計、施工管理、保存修復などの実務訓練を行います。

武庫川女子大学では学内に一級建築事務所「武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ」を開設しており、学内にいながらインターンシップに参加することも可能です。



建築実務インターンシップ(学内)で取り組んだ 韓国大邱市の都市デザイン案が国際コンペで入選!



2021年度は学内で建築実務インターンシップを実施。韓国大邱市主催の国際都市デザインコンペ「International Idea Competition for K-2 Brownfield」に取り組み、本専攻案がEncouragement Prize(佳作)に入選しました。大邱市北東部にある空軍基地の移転に伴う跡地に未来都市を建設する壮大な構想です。右のQRコードから動画をご覧ください。



実績、知識、ともに豊富な指導陣。 学生が参加できる研究活動も充実。

建築・ランドスケープそれぞれの分野において、設計活動でも豊富な実績をもつ専任教員、非常勤講師が、高度で実践的な教育を行います。専任教員が従事する様々な研究には、学生も参加することができます。

専任教員



石田 潤一郎 教授
＜景観建築設計演習、近代建築史など担当＞

工学博士。京都工芸繊維大学 名誉教授。ラサール高等学校、京都大学卒業、同大学院建築学専攻修士課程、同博士後期課程修了。専門は建築史、都市史。日本の近代建築研究の第一人者。「関西の近代建築」など著書・論文多数。2003年度日本建築学会賞（論文）、2015年度日本建築学会賞（業績：共同）など受賞多数。



上町 あずさ 教授
＜建築都市緑化実習、景観建築植物学など担当＞

博士（学術）。大阪教育大学付属高等学校池田校舎卒業、京都大学農学部農学科卒業、同大学院農学研究科修士課程修了。兵庫県造林緑化公社（現：みどり公社）花と緑のまちづくり研究所に勤務。平安女学院大学非常勤講師、大阪産業大学非常勤講師などを経て、現職。専門は景観植物、蔬菜花卉園芸学。



杉田 茂樹 教授
＜景観建築設計演習、都市計画など担当＞

宮崎県立宮崎大宮高校、九州大学工学部建築学科卒業、同大学院工学研究科修士課程修了。専門は都市デザイン、都市計画。日建設計のデザインディレクターとして中国、ロシア、中東などの都市デザインプロジェクトを数多く手掛け、国際コンペ当選多数。歩きやすい歩行者空間を形成するための、街区と街路のスケールなどを研究。



米田 浩二 教授
＜景観建築設計演習、建築家の職能と倫理など担当＞

洛星高校、京都大学工学部建築学科卒業、同大学院工学研究科修士課程修了。専門は建築設計、鹿島建設のプリンシパルアーキテクトとして国内外のプロジェクトに従事。建築学会作品選奨、建築士会連合会賞、BCS賞など受賞多数。「光環境と建築デザイン」、「日本の伝統的環境制御手法と建築デザイン」などを研究。



曾和 治好 教授
＜景観建築設計演習、景観建築原論など担当＞

博士（農学）。天理高等学校、京都大学農学部林学科（造園学研究室）卒業。同大学院農学研究科（造園学研究室）修士課程修了。専門は造園学、景観建築設計・意匠。大手建設会社において、梅田スカイビルなど大規模プロジェクトの造園計画を担当。都市景観大賞（景観まちづくり活動・教育部門）優秀賞（2018）など受賞多数。京都市美観風致審議会委員ほか。



森本 順子 准教授
＜景観建築設計演習、建築設計実務など担当＞

博士（建築学）。神戸女学院高等学部卒業、京都工芸繊維大学工芸学部卒業、同大学院工芸科学研究科修士課程、武庫川女子大学建築学科博士後期課程修了。専門は建築設計、建築設計学。アトリエ事務所等に勤務し、木造住宅や集合住宅などの実務経験を持つ。「村野藤吾の複曲面」に関する研究など。



杉浦 徳利 教授
＜景観映像情報演習、建築計画など担当＞

博士（工学）。愛知県立半田高等学校、福井大学工学部環境設計工学科卒業、同大学院工学研究科修士課程、京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。専門は建築設計、建築計画学。「帰納論理プログラミングを用いた居住空間構成法による空間構成過程の研究」など研究多数。



田崎 祐生 教授
＜景観建築設計総合演習、世界建築史など担当＞

博士（工学）。大阪府立天王寺高等学校、京都大学工学部建築学科卒業、同大学院工学研究科修士課程、同博士後期課程修了。専門は建築論、建築設計。「住まうこと」を手がかりに、東アフリカの農耕民の伝統的住居や精神医療施設などを事例として、建築論、場所論を展開。「舞鶴市斎場」「光愛会光愛病院」など作品多数。



田中 佑奈 助教
＜表現基礎演習、景観映像情報演習など担当＞

博士（建築学）。大阪府立鳳高等学校、武庫川女子大学建築学科（5期生）卒業、同大学院建築学専攻修士課程、同博士後期課程修了。専門は建築計画学、景観デザイン学。博士學位論文は「ファサードの立体的な構成に着目した伝統的町並みの特徴」の研究。武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオで「阪神鳴尾・武庫川女子大学前駅」などの設計に従事。

2022 年度 非常勤講師

朝倉 真一 講師	大学院修士 1 年生「景観建築特論」担当
浅田 晶久 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：瓦」担当
麻生 弥希 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：デッサン・日本画」担当
安積 亜希子 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：音と動画の映像表現」担当
阿部 竜也 講師	学部 2 年生「建築都市緑化実習Ⅰ・Ⅱ」担当
糸谷 正俊 講師	学部 3 年生「景観緑地計画論」・「景観建築設計演習Ⅳ」担当
稲田 進 講師	大学院修士 1 年生「景観緑地計画特論」担当
井原 縁 講師	学部 3 年生「文化遺産保全学」担当
今松 泰 講師	大学院修士 1 年生「トルコ語」担当
上岡 典子 講師	大学院修士 1 年生「景観計画論」担当
大槻 意章 講師	大学院修士 1 年生「景観建築特論」・「景観計画論」担当
大平 和弘 講師	学部 3 年生「文化遺産保全学」担当
大矢 京子 講師	大学院修士 2 年生「景観設計論」担当
小笠原 寛夫 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：音と動画の映像表現」担当
唐津 攝子 講師	大学院修士 1 年生「景観建築設計総合演習 A」担当
栗山 知広 講師	学部 2 年生「建築環境工学Ⅰ」担当
小宮山 研二 講師	大学院修士 1 年生「建築環境設備設計論 B」担当
阪本 貢 講師	学部 2 年生「建築都市緑化実習Ⅰ・Ⅱ」担当
笹岡 隆甫 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：いけばな」担当
佐藤 健 講師	学部 1 年生「設計基礎演習」 学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅰ」担当
塩見 篤史 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：盆景」・「設計基礎演習」担当
鈴木 悦甫 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：いけばな」担当
須藤 英司 講師	学部 2 年生「構造力学Ⅰ・Ⅱ」担当

高橋 大弐 講師	学部 3 年生「建築環境工学Ⅱ」担当
武田 重昭 講師	学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅱ」担当
武田 純 講師	学部 3 年生「景観設計施工技術」担当
田中 充 講師	大学院修士 1 年生「景観緑地計画特論」担当
田邊 晋治 講師	学部 1 年生「景観建築植物実習Ⅰ・Ⅱ」担当
田端 敬三 講師	学部 2 年生「自然環境保全学」担当
田畑 了 講師	学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅰ」担当
西辻 俊明 講師	学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅰ」担当
貫名 涼 講師	学部 2 年生「自然環境保全学」担当
畠中 研治 講師	学部 3 年生「景観都市緑化実習Ⅳ」担当
飛田 範夫 講師	学部 1 年生「日本庭園史」担当 学部 2 年生「世界庭園史」担当
平岡 都子 講師	学部 1 年生「景観建築植物実習Ⅰ・Ⅱ」 学部 2・3 年生「建築都市緑化実習Ⅰ～Ⅳ」担当
平垣内 悠人 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：光と陰影」担当
平松 幸三 講師	学部 2 年生「自然環境保全学」担当
深川 良一 講師	学部 3 年生「土質力学」担当
福井 亘 講師	大学院修士 2 年生「景観生態学特論」担当
福島 貞道 講師	学部 2 年生「建築法規Ⅰ」 大学院修士 1 年生「建築法規特論」担当
福廣 勝介 講師	大学院修士 1 年生「景観緑地計画特論」担当
藤田 一郎 講師	学部 3 年生「水理学」担当
藤原 民夫 講師	大学院修士 2 年生「建築設計実務」担当
前野 隆 講師	学部 1 年生「景観建築植物実習Ⅰ・Ⅱ」 学部 2 年生「建築都市緑化実習Ⅰ」担当
松井 淳 講師	学部 1 年生「景観建築特別実習Ⅰ」担当
松井 敬子 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：書道」担当

松浦 範明 講師	大学院修士 1 年生「建築施工管理論」担当
松岡 恵悟 講師	学部 1 年生「測量学実習」担当
松本 浩作 講師	学部 2 年生「建築環境工学Ⅰ」担当
松本 仁 講師	学部 1 年生「生態学」担当
丸井 英幹 講師	学部 2 年生「景観建築特別実習Ⅱ」担当
三宗 司郎 講師	大学院修士 1 年生「建築計画マネジメント論」担当
南野 馨 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：陶芸」担当
宮前 保子 講師	学部 3 年生「景観緑地計画論」担当
三輪 斉子 講師	学部 1 年生「設計基礎演習」担当
村上 修一 講師	学部 1 年生「設計基礎演習」 大学院修士 1 年生「景観建築特論」担当
森山 明 講師	学部 3 年生「景観建築設計演習Ⅳ」 大学院修士 1 年生「景観建築設計総合演習 B」担当
安田 東平 講師	学部 3 年生「景観緑地計画論」担当
山田 匡 講師	学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅱ」担当
山田 雅明 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：透視図」担当
吉田 治英 講師	学部 1 年生「表現基礎演習：グラフィック」担当
吉田 博宣 講師	大学院修士 1 年生「景観建築設計総合演習 A」 大学院修士 2 年生「景観緑化工学特論」担当
吉田 昌弘 講師	学部 2 年生「景観建築設計演習Ⅱ」担当
芳村 恵司 講師	大学院修士 1 年生「建築環境設備設計論 A」担当
渡辺 真次 講師	学部 3 年生「建築施工」担当
D.P.アンドレジスキ 講師	学部 1 年生「景観建築英語Ⅰ・Ⅱ」担当
M.P. スイートマン 講師	学部 1 年生「景観建築英語Ⅰ・Ⅱ」 学部 2 年生「景観建築英語Ⅲ・Ⅳ」担当
D.L. ロビンソン 講師	学部 2 年生「景観建築英語Ⅲ・Ⅳ」担当

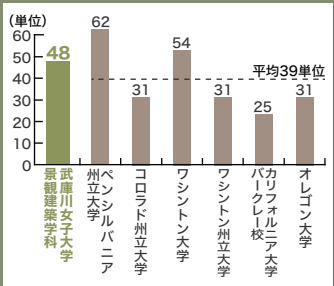
※五十音順に掲載

世界水準のランドスケープ教育を実現する カリキュラムと強力な非常勤講師陣

欧米のランドスケープアーキテクチャ学科並みの演習時間を確保

様々な知識を統合し美しい風景を創造する力を養うためには、設計演習が不可欠です。ランドスケープ教育の先進国、米国の主なランドスケープアーキテクチャ学科における演習の単位数は平均で39単位[※]です。景観建築学科の演習単位数はこれを大きく超える48単位[※]。質・量ともに世界水準のデザイン教育を行います。これだけ多くの演習時間を確保しているのは、日本では本学科だけです。

（※学部卒業に必要な演習単位数）



米国の公立大学ランドスケープアーキテクチャ学科と武庫川女子大学景観建築学科の演習授業単位数の比較
（「三谷 徹、ランドスケープ学教育におけるデザインスタジオ演習の可能性―その位置と強度―、造園学会ランドスケープ研究、vol.83(2)、pp96-99、2019 年 7 月」にもとづき武庫川女子大学 景観建築学科の情報を追加して作成）

景観建築学科の非常勤講師を務めるスペシャリストからエールを送ります



森山 明 講師
(株) 森山景観技術事務所
代表取締役
景観プランナー
担当科目
景観建築設計演習Ⅳ(学部3年)
景観建築設計総合演習B(大学院修士1年)
▶景観建築学科は、多様な学びを通して美しい景観を生み出す唯一の学科です。



田畑 了 講師
園三 (ENZO・田畑 了)
株式会社 園三 代表
庭園作家
担当科目
景観建築設計演習Ⅰ(学部2年)
▶美しい景観を創造することは、多くの人々の幸福に繋がります。



西辻 俊明 講師
現代ランドスケープ
代表取締役
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会・関西支部長
担当科目
景観建築設計演習Ⅰ(学部2年)
▶RLA の資格を持った人材が活躍することで、豊かな都市や地域が実現されます。

Q&A あなたの疑問にお答えします！

Q 「景観建築」とは何ですか？

A 欧米では建築学部の中に、建築学科と、自然との関係を大切にして庭や広場などの屋外空間の設計を学ぶランドスケープアーキテクチャ学科があるのが一般的です。しかし、日本の大学ではランドスケープが農学系に、建築は工学系に位置づけられているため、両分野に精通する専門家は希少です。建築学とランドスケープ学が融合した、これまで日本になかった新しい学びを通して、自然・人・建築の共生を創造できる設計者を育てる、それが景観建築学です。

Q 建築学科との違いは何ですか？

A 建築学科との大きな違いは、設計演習で庭・公園・街路などのランドスケープと建築が一体化した課題に取り組むことです。そのために、講義科目では、建築設計に必要な知識と技術に加え、生態学、植物学、緑地計画、流域保全、庭園史などランドスケープ分野についても深く学びます。また、実際に植物を育てる「緑化実習」も景観建築学科ならではの学びです。ドローンや VR など映像情報技術を駆使して設計やプレゼンテーションに生かす手法の修得にも力を入れています。

Q どんな資格を目指すのですか？

A 規模・用途・構造に関わらず、あらゆる建物を設計できる「一級建築士」と、地域の風景の調和を図り、緑豊かな美しい屋外空間のデザインの専門家である「RLA（登録ランドスケープアーキテクト）」の2つの資格取得を目指します。大学院修士課程に進学すれば、一級建築士の資格登録に必要な実務経験 2 年、RLA の受験資格取得に必要な実務経験 3 年のうち 2 年を、大学に通いながら充足することができます。

Q 想定される進路・就職先は？

A 大学院への進学、設計事務所（建築、公園、庭園などの設計、都市計画）、総合建設会社（建築、公園、庭園などの設計・施工管理など）、官公庁（建築、造園、土木）、ディベロッパー（不動産の企画・開発など）、コンサルティング企業（都市開発のための調査・企画など）、住宅メーカーなどです。

Q 数学や物理に不安があるのですが、大丈夫でしょうか？

A 構造物力学や環境工学、水理学や土質力学など、建築や景観を専門的に学ぶ上で数学や物理の理解は必要不可欠です。そこで、1 年生の前期にリメディアル教育講座を課外に開講し、数学と物理のうち高校で学習できなかった部分、および理解が不十分であった部分を学習できるように配慮しています。